

別紙 意見に対する検討結果

No.	ページ	項目	意見	検討結果（町の考え方）
1	6	体系図	「医」「住」「食」の順番は、第4章重点施策のテーマ「医・食・住」の順番と異なり、全体の一貫性が感じられないので、「医」「食」「住」の順とすべきではないか。	各政策分野の並び順は、前計画で構成した「ひと・まち・しごと」に概ね合致する順番で構成しています。重点施策の「医・食・住」は、これら政策分野の取り組みの中から、特に重点的に取り組む施策を抽出して一群としたものとなります。この「医・食・住」を「ひと・まち・しごと」の分野に対応させると「医・住・食」となることから、体系図では「ひと・まち・しごと」の順とし、重点施策では語呂として馴染みのある「医・食・住」の並び順としたところです。
2	28	基本理念	～安らぎとにぎわいが調和する～ 安らぎとは心と体の安寧のことと解釈するが、住田町の場合、自然環境については豊かだが、他と比べて経済環境については非常に厳しいのではないかと。悪いところだけ比べないで自分たちの良いところ探し、オリジナルを見直せというが、現実的に金、経済的利潤を生み出す場に人は動いている。それは住田町の歴史を見ても明らか。現在は経済的利潤を生み出せる環境が少ない。高度な教育を受けることが出来ても、それを活かせる場が無い。そして都市部や他の地域に魅力的なコトやモノがそろっている世の中である。故に若者は去る。やすらぎとにぎわいの調和ということであれば、もっと「にぎわい」に力を入れるべきである。	仕事のない場所に若者は住まないというご指摘はその通りであると考えます。一方で、現在都市部の若者が地方に移住するいわゆる「田園回帰」が進んでおり、所得以外の生きがいを求める方もいらっしゃいます。本町で都市部ほどの所得水準に引き上げることは、現実的に困難であると考えます。生活に必要な所得を得るため「食」を中心とした産業振興に努めていくことと同時に、多くの町民が住みやすきの要因として挙げている「豊かな自然」や「静かで穏やかな雰囲気」といった町の魅力をさらに磨き上げるような町づくりを同時に進めるといった意味合いで「安らぎとにぎわいが調和する」という表現を採用したところです。
3	29	重点施策「食」	産業振興、特に観光に力を入れて地域外貨を獲得できるような場を行政がもっと主体的になってつくっていくべきである。	本町の製造業の出荷額を見ると、食料品製造業が最も大きく約76億円、農業産出額では豚やブロイラーなどの畜産が農業全体の約95%を占め約53億円と、食産業が本町の基幹産業であると捉え、この強みをさらに伸ばしていくことが町の産業振興の鍵になると考え、食産業を重点施策としたところです。観光振興についても、滝観洞や種山ヶ原、歴史的な町並みなどの資源を活かし広域的視点をもった観光振興を引き続き進めて参ります。
4	30	重点施策「住」	儲けられそうにないところに人は来ない。 幸せに生きていけそうなところに人は来ない。 つまり、儲けられそうなことを仕掛ける必要がある。 幸せに生きているよう見せる必要がある。	重点施策の「住」では、住まいに関する事業を記載しています。住むために必要な条件として「儲けられること」というご意見ですが、これについては重点施策の「食」を始め、産業振興に関する各政策分野の取り組みによって町民の雇用の場の確保に努めて参ります。
5	32	住田町保健福祉計画、健康すみた21プラン	「我が事丸ごと」地域共生社会を目指し、行政、社協、そして住民主導の地域福祉活動に期待しています。 とくに少子高齢化の対応等をPDCAサイクル活用し、他の市町村のモデルになれるよう、推進してほしいと思っています。	基本理念に掲げる「共生のまち すみた」の実現には、行政や関係機関はもとより、住民の皆様のご理解とご協力が何よりも不可欠であると考えます。自治公民館や小さな拠点づくりの地域協働組織など、住民主体の地域づくりが盛んな本町であるからこそ実現できるものであることから、住民の皆様の幅広いご参画をお願いいたします。
6	34	移動支援	高齢に付運転免許証の返納を考えている。しかし、医療体制にかんがみ通院に不便を感じる。そこで移動支援を強化しては。例えば住民同志の移動支援日替りで大船渡病院、遠野病院、高田病院等などに公共の車を利用して通院する、させる。運転手は住民より交替で出す。むろんボランティアで。事故等も想定されるが、条例できちんと定めて理解を得る。	町では民間路線バスと町コミュニティバスでもって通院等の移動手段的確保に努めてきているところですが、時間や場所に関するすべてのニーズに対応しきれていないといえませんが、町では今後も引き続き路線バスによって幹線の移動手段的確保に努めて参りますが、住民一人一人の細かなニーズへの対応は住民の皆様の取り組みによって解消していただく方法が最適と考えておりますので、詳細は今後検討して参ります。
7	41	広報	Facebookだけでなく、ツイッターも利用してみてもどうでしょうか？	広報のツールに関しては、ご意見も踏まえまして引き続き効率的かつ効果的な方法

No.	ページ	項目	意見	検討結果（町の考え方）
				を検討して参ります。
8	－	全体を通して	特に異議はありません。どの様な計画を立てるかは、現施政者の事由です。そして、それをどこまで実行出来るかは、町の課長補佐級職員のふんばりどころです。計画案作成担当者の労を労います。	温かい激励のお言葉として承ります。
9	－	全体を通して	全体的に、今までやっていることの焼き直しと、付け焼刃の計画（案）にしか見えな い。 これで次世代に明るい未来を示せるか甚だ疑問である。	今回の計画では、確かに前計画のような新たな取り組みを打ち出すようなものはあ りませんが、基本理念において誰一人取り残さない地域共生社会を目指すという新 たな視点を入れたことが特徴の1つと考えています。 今後、政策分野の取組方向で示した方針に基づき、各部門計画などにおいてより具 体的な取組内容が検討、実施されることとなりますが、実効性が高く町民の皆様 に事業の効果が実感していただけるよう努めて参ります。
10	－	－	ふるさと納税のパンフレットは酷い。せつかく地域外からの税収を得られる手段な のに、まるで駄目だと感じている。 具体的には、表紙から手に取って見たくするような表紙ではない。 ピンボケした林業残渣を表紙にするとは何を考えているのか。これが住田町らしさ なのか。 次に、文字が小さい。我々のような高齢者には小さな文字は見づらい。文字数も多く 写真も小さいので不親切であり、魅力がまったく伝わってこない。物産の良さを台 無しにしている。 誰に何を伝えたいのかしっかりと考えられて作っているとは思えない浅はかなパン フレットと感じた。 制作は一般社団法人 SUMICA？デザイン業者を見直すべきである。このままでは税金 と資源の無駄でしかない。 総合計画の中でも、税収をあげることは重要な課題だと思う。しっかりやって欲し い。	ふるさと納税のうち個人の寄付金は平成30年度の963万円から、本年度は既に1,300 万円を超えるご寄付をいただき、順調に伸びてきているところです。 ご指摘のあったパンフレットについては、これまで多方面でPR活動を行ってしま すが、そこでの反応は概ね好感をもっていただいていると捉えています。